

それいけ!! はっぴい隊

～ 駒ヶ根を守るヒーローがここにいる ～

女性も大歓迎!

団員募集

団員には年報酬、
出動手当、公務災害補償、
退職報償金制度等
があるよ!



災害の最前線で人や地域を守るために全力で立ち向かう人がいます。持っている知識と技能をフル活用して寄り添ってくれる人がいます。あなたも仲間になりませんか?

- ◆ 市内在住
- ◆ 18歳以上(大学生可)
- ◆ 健康で消防団活動ができる人

消防団員サポート事業を紹介します

駒ヶ根市消防団員が消防団員サポート店を利用した際に、サポートカード(団員証)を提示することで、代金の割引や特典などのサービスが受けられます。

消防団員サポート店表示証

駒ヶ根市消防団員
サポート事業実施店



サポート店の皆様、
ご協力ありがとうございます。



消防団員サポート事業を紹介します

駒ヶ根市消防団員が消防団員サポート店を利用した際に、サポートカード(団員証)を提示することで、代金の割引や特典などのサービスが受けられます。

例えば...

例1: 会計時5%OFF!

例2: 生ビール(中ジョッキ)半額!



店舗ごとの
詳しい内容は
右記のQRコードから



消防団協力事業所制度とは

この制度は、消防団の活動に顕著な協力や貢献をしている事業所を認定する制度です。

交付を受けた事業所等では、社員募集や広告宣伝活動等の際に「表示マーク」を使用することができ、広く社会に対して自社の消防団活動への協力の取り組みを発信することができます。

認定された事業所には
表示証が交付されます。



令和5年度 地域活動助成事業備品

(公財)長野県市町村振興協会の宝くじの社会貢献広報事業である「地域活動助成事業」を活用し、半長靴を100足購入しました!



編集後記



今回は消防団の活動について紹介しました。私たち桜こまち隊もポンプ操法大会にてアナウンスや表彰補助、計測等に参加しました。女性隊員も募集しています!

お問い合わせ先/消防団本部(駒ヶ根市役所 危機管理課内) TEL:0265-83-2111(内線222)

E-mail: dan@city.komagane.nagano.jp

4年ぶりに駒ヶ根市ポンプ操法・特科技術競技大会が実施されました!



消防ポンプ車・小型ポンプの部



ラッパ隊吹奏の部



駒ヶ根市消防団
ってスゴイ!



バイク隊展示



救護の部

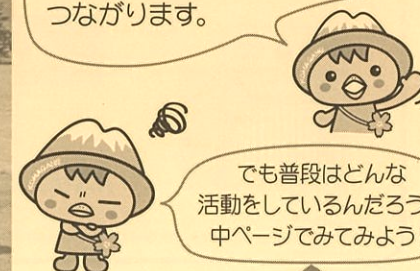
勝ち抜いたチームが長野県消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会に出場しました!!

長野県消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会結果

小型ポンプ操法(第5分団4号) 優勝	ポンプ車操法(第2分団2号) 第6位
個人賞 指揮者 村上 一	個人賞 3番員 小田切 イチロー
個人賞 1番員 村上 大	
個人賞 2番員 村上 晃一	ラッパ吹奏 第3位

消防操法大会は、消火活動に必要な操作や動作の技術を、正確かつ安全に行えるよう訓練によって身につけ、その成果を競う大会で、操法技術のレベルが向上し、消防団全体のレベルアップと、組織力の強化につながります。

でも普段はどんな活動をしているんだろう? 中ページでみてみよう!





消 防 団 の 活 動



災害時の活動



風水害・地震

～様々な災害にも迅速に対応～

気象庁、国交省等と情報共有

避難の呼びかけ等

状況が落ち着くまで活動、各詰所で待機

① 気象情報・河川水位の注視

② 参集

③ 警戒・広報活動

④ 救助活動

⑤ 待機

天竜川水位0.5m越水(沢渡地点)を基準に参集

土のうの設置、倒木や土砂の撤去、要救助者の救助

人命検索

～行方不明者の人探しも対応～

防災無線や駒ヶ根市メール配信サービスで周知

搜索済みエリアを現場本部へ報告 → 次の搜索範囲を繰り返す、漏れなく搜索

① 行方不明者発生

② 参集

③ 現場本部設置

④ 搜索開始

⑤ 情報収集

エリアごとチームを作り、連携しながら車両やバイク、徒歩で搜索

火 災

～被害を最小限に抑えるためには初期対応が大切～

防災無線や駒ヶ根市メール配信サービスで周知

火災現場近くに設置し、情報整理

① 火災発生

② 地域住民による初期消火

③ 参集

④ 現場本部設置

⑤ 水利の確保

⑥ 消火活動

⑦ 情報収集

⑧ 残火処理

川や池、消火栓、防火水槽

ポンプ車、可搬ポンプ

無線傍受、図面作成(消防車、ホースの配置等)

残り火の処理、再燃防止の警戒

平常時の活動

訓練・知識技術の習得

～火災や救助活動に必要な技術や知識を身につける～



規律訓練



救護技術の習得



ポンプやホース等の正しい使い方を訓練



消防団の士気を高める

点検・広報啓発活動

～地域の安全と災害・火災能力を向上させるために不可欠～

- ・ 機関点検
- ・ 防災訓練等への参加
- ・ 火災予防の巡回
- ・ 啓発活動
- ・ 広報活動

